



KUSHIRO WEST ROTARY CLUB 2016~2017 (平成27年~28年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和45(1970)年6月8日 承認 昭和45(1970)年6月10日

2016~2017 RI テーマ 「人類に奉仕するロータリー」



《例会日：毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場：ANAクラウンプラザホテル 釧路市錦町3-7》

会長 小泉 和史 幹事 松田 正昭

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

《本日のプログラム》 9月5日 12:30

普通例会

基本的教育と識字率向上月間《三木会員卓話》

《次回のプログラム》 9月12日 12:30

普通例会

ライラセミナー参加報告

2016年9月5日(月) 第8回 通算2151回

【点 鐘】 小泉会長

【ロータリーソング斉唱】



「国歌」「我等の生業」「四つのテスト」

ソングリーダー：杉野会員

【会長挨拶】 小泉会長



みなさん、こんにちは。先週8月29日(月)は体験例会が開催されましたが、請川さんをゲストにお迎えし、楽しい交流ができました。入会は確約をいただいておりますが、下期におきましても体験例会を開催できればと考えております。

第3回目の会長・幹事会が先週2日に開催されました。各クラブとの情報交換をしますと、他クラブも会員増強は順調のこととお聞きしております。当西クラブも会員みなさまのお力を

をお借りして、会員純増につなげていきたいと思っております。今週末、9月10日(土)～

11（日）留辺蘂にて第36回RYLAセミナーが開催されますが、今年度は佐藤副会長の従業員でいらっしゃいます星智也様・26歳の方にご参加をお願いしております。新世代会・平委員長には、ご苦勞をおかけますがよろしくお願い致します。

本日のプログラムは、基本的教育と識字率向上月間ですが、2年前には月間の月も違いましたし、基本的教育という部分については、テーマとして上がっておりませんでした。今回は三木パスト会長に後ほど、釧路の教育の実情についてお話しをお伺いしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。以上で会長挨拶とさせていただきます。

【幹事報告】松田幹事



- ・ ガバナー月信が届いています。
- ・ 近隣クラブより例会案内・会報。
- ・ 厚岸RCより会報。
- ・ 釧路市民活動センターよりわっと便り。
- ・ 例会終了後、理事・役員会があります。
- ・

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 櫻田委員長

【ニコニコ献金】

- ・ 奥様誕生…張江会員

【本日のプログラム】基本的教育と識字率向上月間プログラム 《三木会員卓話》

◎釧路の子ども達の基礎学力問題 ～その後～ : 三木会員



基本的教育及び識字率向上月間ということも絡め、お話をさせていただきたいと思います。レジュメ表紙にありますように、釧路の教育を考える会の副会長を務めさせていただいております。会長は、釧路市の部長職を歴任なさった角田憲次さん。もうひとかたの副会長は釧路議会議長・月田光明さんです。2010年に結成され、釧路の子ども達の基礎学力向上を目指すべく活動し、市や道に対して提言を続けております。北海道教育文化研究所。こちらは、保

守系の教職員団体であります全日本教職員連盟という組織があるのですが、そのシンクタンクという位置づけになります。ご存知のように北海道では北教組こと北海道教職員組合が強く、

保守系の教職員団体は誰もが立ち上げることができなかった。では、部外者である我々が立ち上げてやろうではないか！ということで、その呼び水のために先行して立ち上げた組織です。昨年度まで理事長職を拝命しておりましたが、現在は学校の先生へバトンタッチしました。所長は道議会議員の笠井龍司さんです。

さて、日本の識字率ですが、今月のガバナ―月信巻頭にありますように、99.8%とも100%とも言われていますが、実はこれ、正式な調査は行われていないのです。義務教育の就学率をもって同じものとして定義されているに過ぎません。ところが現実には、初等教育で習う読み書き計算がままならない方が、具体的には戦時中のゴタゴタで満足に初等教育を受けられなかったご高齢の方がいらっしたり、現在ではいじめの問題。先日、若者サポートステーションの方にお話をいただきましたけれど、いじめを原因に不登校になり、それがためにその時点で、例えば小学校の時点で学校の勉強内容がストップしたまま、その状態のまま卒業。これを形式卒業と言ったりしますが、そうして万度に初等教育を受けられなかった方も一定数いるわけです。

本日は、「釧路の子ども達の基礎学力問題 その後」ということでのお話ですけれど、まず我々が主張するところの基礎学力についてです。大学進学率を上げろとか、一流大学への進学を増やせとか、そうしたことを言っているではありません。小学校4年生終了相当の学力、それを基礎学力と定義し、その習得を全員の子ども達に保障していただきたい。そうしたことを提言している次第です。こう言うと「えっ、小学校4年生？」と驚かれる方もいるわけですが、将来、日本人として生きていく上で絶対に譲れない最低限の学力、それが小学校4年生終了相当に帰着するものだ我々は考えています。しかしそこまでが身につけていない子が多い。例えば新聞。調査の結果、新聞誌面に出てくる漢字はその7割強までが小学校4年生までに習う漢字です。ということはつまり、そこまでの読み書きの力が備わっていたなら、大体は新聞を読めるということになります。ところがそこに至っていなければ…。想像に難くありません。

資料をご覧ください。2015年8月27日、北海道新聞の記事です。昨年度の全国学力テストですが、北海道の小学生は47位、中学生は30位。道新の計算ミス、小学生は滋賀県が最下位ではないか？という話もありますが、いずれにせよ全国最低レベルです。実は以前は沖縄県の指定席だったのですが、現在は県を挙げて学力向上に取り組んでいて、去年はたしか15位だったかと思いますが、北海道は沖縄県にも置いてきぼりを食らった形になっています。次の資料は、我が釧路市の状況です。数字ではなく星印での公表ですけど、全国最下位かブービー、その北海道の中であってご覧のように黒星印が多く、悲しいかな、下の中でさらに下といった状況にあります。しかし、これでも以前に比べたならかなり改善されたわけですが…。釧路市教育委員会はこのように数値を伏せて公表をしていて、我々はその目隠しを外すように何度も求めて参りました。結果、いよいよ今年度から数値を発表するようになったとのことで、もうすぐ公表になると思われます。お次の資料は北海道学力コンクール事務局による、道内の高校のSSすなわち偏差値ランキングです。裏面に我が釧路地区がありますけれど、いかがでしょうか。釧路湖陵普通科は、今では帯広柏葉に大きく水を開けられていることが見て取れます。実際、北大合格実績も医学部合格実績も今では完全に柏葉の方が上です。例えば地域医療の問題。地元出身医師のおよそ3割ほどは将来的に戻ってくるなどと言われているようですが、放流・リリース方式で考えたなら釧路の場合は十勝のそれよりもうんと少ないわけですから、将来的に戻ってくる医師もまた少なくなる。将来の地域医療のためにもやはり上位層を養成・輩出することが不可欠であろうと思います。釧路でも何年かに一回、東大・京大合格

者が出ると新聞記事になったりしますが、柏葉はここ最近、毎年コンスタントに合格者を輩出し続けています。そうした十勝も以前は、函館の私立や札幌東西南北などに高校受験生が流れたものでしたが、現在では地域から出ずとも十分な医学部合格の実績があるわけですから、これもまた地産地消というやつでしょうか、おそらくは経済界の後押しもあるのでしょうか、人材の域内循環も整いつつあるのではないのでしょうか。

その他、資料としまして過去の新聞記事を添えました。最近取材がめっきり減ってしまい、ちょっと淋しい思いをしているのですが（笑）。2012年2月28日の読売新聞記事ですが、札幌で講演ということになり、「いいですよ」と気軽な気持ちで行ったところ、その後、当時の北海道教育長、それに前北海道教育大学学長とのパネルディスカッション。鼎談というのでしたか、まさにぶっつけ本番。「えっウソ！」とびっくりしたことを覚えています。その他、我々釧路の教育を考える会が、釧路市に提言書を提出する模様などの記事になります。よろしければお目通しいただき、子ども達の基礎学力問題についてご一緒にお考えいただければ幸いです。おかげさまで我が釧路も以前に比べるとだいぶ改善されつつありますけれど、とはいえまだまだまだまだの状況です。引き続き、釧路の子ども達の基礎学力の底上げに向け活動を続けます。時間となりました。以上です。ありがとうございました。

【次回例会のご案内】

9月12日（月） 12：30～

ライラセミナー参加報告

担当：社会奉仕委員会

《例会運営委員会》

| | | | | |
|------|-----|-----|---------|------------|
| 9月5日 | 在籍数 | 28名 | | 「編集：三木委員」 |
| | 出席者 | 18名 | 欠席者 10名 | 出席率 64.29% |

会報委員長： 三木 克敏 副委員長： 杉野 史和
委員： 大場 恵治 那知 哲 坂口 裕二 菊地 康平 高田 智弘 小栗 直也